

鎮西学院大学 生成 AI 利用ガイドライン

2024 年 11 月 27 日
教 授 会 決 定

近年、生成 AI 技術の急速な進展に伴い、教育活動等に大きな影響が生じています。本学では、生成 AI の利活用は、適切かつ法的・倫理的課題の遵守を前提とすべきだと考えています。以下に、学生及び教員に対する生成 AI の適切な利活用に関するガイドラインを示します。

【生成 AI と教学関係】

1. 生成 AI が出力した文章やプログラム等を、レポートや論文の執筆、試験にそのまま使用することは、剽窃や不正行為とみなされる可能性があります。
2. レポート等に生成 AI を利用した場合は、生成 AI の種類・箇所等を明記し、透明性を確保してください。
3. レポート等の学修成果を評価する場合は、小テストや口述試験等を併用するなど評価方法を工夫してください。また、AI が生成した文章かを判定するツールを学修成果の評価等に活用する場合においても、その結果を過信しないでください。
4. 生成 AI により得られた情報に対しては、虚偽が含まれている又はバイアスがかかっている可能性があるため、その内容の正確性や信頼性を必ず確認してください。

【効果的な利活用】

・ブレインストーミング ・論点の洗い出し ・情報検索 ・文章の校正 ・翻訳 ・プログラミング補助 ・計算作業 ・その他学生の主体的学びの補助・支援など

【個人情報等関係】

5. 生成 AI を利用する際は、個人情報の取り扱いに十分注意し、プライバシーを保護してください。他人の個人情報、あるいは自分自身に関する情報や大学・研究室・企業の機密情報等についても入力しないように注意してください。

【著作権関係】

6. 生成 AI により得られた文章等を利用する場合は、著作物に係る権利を侵害することのないよう留意してください。

【継続的な見直し】

7. 本学では、生成 AI に関する問題や利用法について、定期的に学内での議論や研究を行い、最新の情報や知見を共有していく予定です。学生・教職員も、新たな利用法や問題点について積極的に議論に参加し、知識の向上に努めてください。